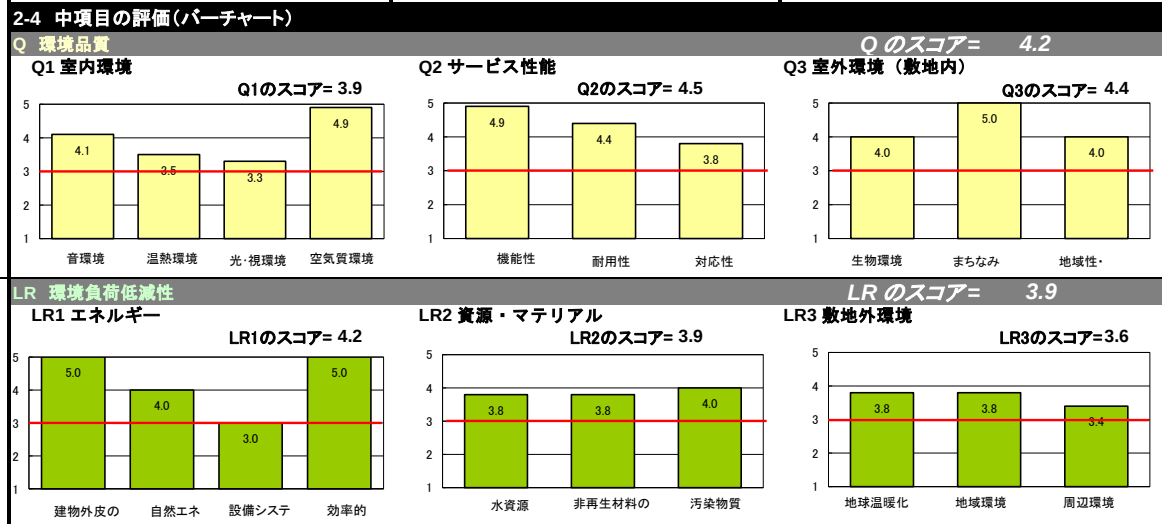
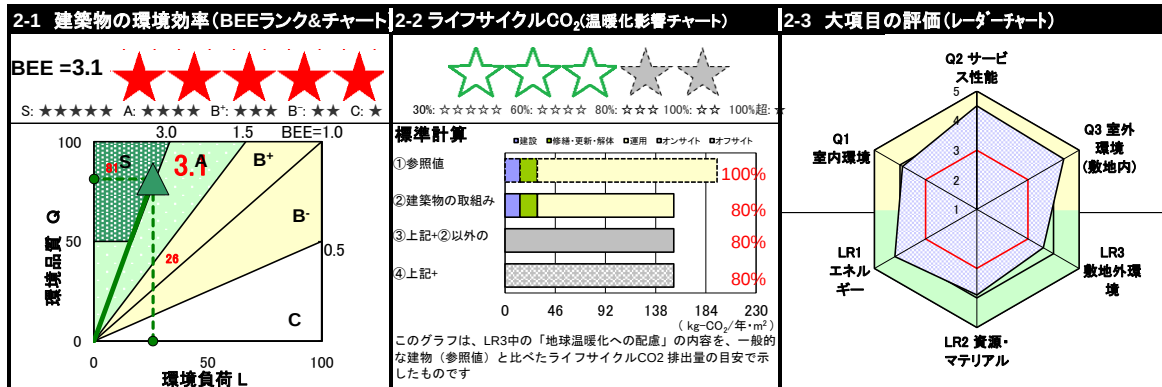


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	半田市立半田病院新病院	階数	地下1階地上5階
建設地	愛知県半田市横山町192番地	構造	SRC造
用途地域	-	平均居住人員	1,370 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	竣工段階評価
竣工時期	2024年10月 竣工	評価の実施日	2024年10月21日
敷地面積	39,616 m ²	作成者	松田 晋征
建築面積	11,328 m ²	確認日	2024年10月21日
延床面積	44,429 m ²	確認者	長谷川 秀訓



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
3.8	4.0	20.8 %
②資源の有効活用	④地域材の活用	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
3.9	2.0	0.7 %
		〈外装材に使用した地域性のある材料〉
		なし
		〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉
		市内工場の陶板を内装仕上げに採用している。

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
半田市立半田病院新病院

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		竣工段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								4.2		
Q1 室内環境					0.40		-	3.9		
1 音環境			0.1	4.2	0.15	4.1	4.1	1.00	4.1	
1.1 室内騒音レベル			外来待合:40dB・診察室:35dB／病室:35dB以下を目標とする							
1.2 遮音			3.0	5.0	0.40		5.0	0.40		
			0.4	4.0	0.40		3.9	0.40		
1 開口部遮音性能			病室:T-2							
2 界壁遮音性能			診察室:Dr-45／病室:Dr-50							
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	4.0	1.00		4.0	0.30		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-		3.0	0.20		
1.3 吸音			-	3.0	0.20		3.0	0.20		
2 温熱環境			0.3	3.5	0.35	3.5	3.5	1.00	3.5	
2.1 室温制御			0.5	3.8	0.50	3.8	3.8	0.50		
1 室温			3.0	3.0	0.38		3.0	0.57		
2 外皮性能			3.0	5.0	0.25		5.0	0.43		
3 ゾーン別制御性			3.0	4.0	0.38		-	-		
2.2 湿度制御			3.0	5.0	0.20		5.0	0.20		
2.3 空調方式			3.0	2.0	0.30		2.0	0.30		
3 光・視環境			0.2	3.2	0.25	4.4	4.4	1.00	3.3	
3.1 昼光利用			病室:5.6%							
			0.4	1.8	0.43	4.2	4.2	0.30		
1 昼光率			3.0	1.0	0.60		5.0	0.60		
2 方位別開口			-	-	-		-	-		
3 昼光利用設備			3.0	3.0	0.40		3.0	0.40		
3.2 グレア対策			-	-	-	5.0	5.0	0.30		
1 昼光制御			5.0	-	-		5.0	1.00		
3.3 照度			3.0	3.0	0.21		3.0	0.15		
3.4 照明明制御			3.0	5.0	0.36		5.0	0.25		
4 空気質環境			0.2	5.0	0.25	4.7	4.7	1.00	4.9	
4.1 発生源対策			0.5	5.0	0.50	5.0	5.0	0.63		
1 化学汚染物質			3.0	5.0	1.00		5.0	1.00		
4.2 換気			0.3	5.0	0.30	4.3	4.3	0.38		
1 換気量			3.0	5.0	0.50		5.0	0.33		
2 自然換気性能			3.0	-	-		3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	5.0	0.50		5.0	0.33		
4.3 運用管理			0.2	5.0	0.20	-	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	-	-		-	-		
2 喫煙の制御			3.0	5.0	1.00		-	-		
Q2 サービス性能			-	-	0.30	-	-	-	4.5	
1 機能性			0.4	5.0	0.40	4.8	4.8	1.00	4.9	
1.1 機能性・使いやすさ			0.4	5.0	0.40	5.0	5.0	0.60		
1 広さ・収納性			3.0	-	-		5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応			3.0	-	-		-	-		
3 バリアフリー計画			3.0	5.0	1.00		-	-		
1.2 心理性・快適性			0.3	5.0	0.30	4.5	4.5	0.40		
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	-	-		4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			3.0	-	-		-	-		
3 内装計画			3.0	5.0	1.00		5.0	0.50		
1.3 維持管理			0.3	5.0	0.30	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	5.0	0.50		-	-		
2 維持管理用機能の確保			-	5.0	0.50		-	-		
2 耐用性・信頼性			0.3	4.4	0.31	-	-	-	4.4	
2.1 耐震・免震・制震・制振			0.4	5.0	0.48	-	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	5.0	0.80	-	-	-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	5.0	0.20	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			0.3	3.6	0.33	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			-	3.0	0.23	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			-	5.0	0.23	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			-	3.0	0.09	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			-	5.0	0.08	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			-	5.0	0.15	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			-	2.0	0.23	-	-	-		
2.4 信頼性			0.1	4.6	0.19	-	-	-		
1 空調・換気設備			3.0	5.0	0.20	-	-	-		
2 給排水・衛生設備			3.0	5.0	0.20	-	-	-		
3 電気設備			3.0	5.0	0.20	-	-	-		
4 機械・配管支持方法			3.0	4.0	0.20	-	-	-		
5 通信・情報設備			3.0	4.0	0.20	-	-	-		

3 対応性・更新性			0.2	3.9	0.29	3.6	3.6	1.00	3.8		
3.1 空間のゆとり			0.3	4.6	0.31	4.2	4.2	0.50			
1	階高のゆとり	階高4.0m以上	-	5.0	0.60		5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 基準階(4階):0.14	3.0	4.0	0.40		3.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31		3.0	0.50			
3.3 設備の更新性			0.3	4.1	0.38						
1	空調配管の更新性	② ケーブルラックやOAフロア、電線管の使用により、構造部材だけでなく、仕上材を痛めることなく電気配線の更新・修繕が可能 ケーブルラックやOAフロア、電線管の使用により、構造部材だけでなく、仕上材を痛めることなく通信配線の更新・修繕が可能 予備機により、更新・修繕時に建物の機能を維持することが可能 バックアップ設備のためのスペース確保	-	3.0	0.17						
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17						
3	電気配線の更新性		3.0	5.0	0.11						
4	通信配線の更新性		3.0	5.0	0.11						
5	設備機器の更新性		3.0	5.0	0.22						
6	バックアップスペースの確保		3.0	4.0	0.22						
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30		-	-	4.4		
1 生物環境の保全と創出			独自③	立地特性の把握、植栽に在来種を使用	-	4.0	0.30	-	-	4.0	
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	景観条例	-	5.0	0.40	-	-	5.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	4.0	0.30	-	-	-	-	4.0	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④	市内工場の陶板を内装仕上げに採用	-	5.0	0.50		-	-		
3.2	敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50		-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.9	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	4.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.74	3.0	5.0	0.30	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用				ナイトバーჯ	3.0	4.0	0.20	-	-	4.0	
3 設備システムの高効率化				BEI=0.8	3.0	3.0	0.30	-	-	3.0	
4 効率的運用					0.2	5.0	0.20	-	-	5.0	
集合住宅以外の評価					1.0	5.0	1.00	-	-		
4.1	モニタリング	LCeMツールを活用 コミッションングを実施	3.0	5.0	0.50		-	-	-		
4.2	運用管理体制		3.0	5.0	0.50		-	-	-		
集合住宅の評価					-	-	-	-	-		
4.1	モニタリング			-	-	-	-	-	-		
4.2	運用管理体制			-	-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.9	
1 水資源保護					0.1	3.8	0.15	-	-	3.8	
1.1 節水				節水型器具を採用	3.0	4.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.6	0.60		-		
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用あり	3.0	4.0	0.67		-	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.33		-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.8	0.63	-	-	3.8	
2.1 材料使用量の削減			② 独自 独自 独自	-	3.0	0.07		-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24		-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.20		-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				ロックウール化粧吸音板(待合等の天井)ビニル床シート(診察室等の床)/タイルカーペット(事務室等の床)	3.0	5.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	3.0	0.05		-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				躯体+LGS+仕上材となっており躯体と仕上材の分離が容易	3.0	5.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	4.0	0.22	-	-	4.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				指定化学物質を含まない建材の採用	3.0	5.0	0.32		-		
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.6	0.68		-		
1	消火剤	窒素ガス消火設備	-	4.0	0.33		-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)	吹付硬質ウレタンフォームA種1H、押出法ポリスチレンフォーム保温板	-	4.0	0.33		-	-	-		
3	冷媒		3.0	3.0	0.33		-	-	-		
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.6	
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率80%	-	3.8	0.33	-	-	3.8	
2 地域環境への配慮					0.3	3.8	0.33	-	-	3.8	
2.1 大気汚染防止				風環境を把握	-	3.0	0.25		-		
2.2 温熱環境悪化の改善					-	4.0	0.50		-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	4.2	0.25		-		
1	雨水排水負荷低減	独自	調整池や貯留槽あり	-	4.0	0.25		-	-		
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25		-	-		
3	交通負荷抑制	独自	駐車・駐輪スペースの確保、動線の整理	-	5.0	0.25		-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		ごみの量を推計、分別回収	-	5.0	0.25		-	-		
3 周辺環境への配慮					0.3	3.4	0.33	-	-	3.4	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40		-		
1	騒音	独自		-	3.0	1.00		-	-		
2	振動	独自		-	-	-		-	-		
3	悪臭			-	-	-		-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					0.4	3.3	0.40	-	-		
1	風害の抑制			-	3.0	0.70		-	-		
2	砂塵の抑制			-	-	-		-	-		
3	日照阻害の抑制		1ランク上の基準を満たす	-	4.0	0.30		-	-		
3.3 光害の抑制					0.2	4.7	0.20		-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		周囲との調和を検討する等、光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たす	-	5.0	0.70		-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		外壁は半ツヤ仕上げとし、グレアを低減する	-	4.0	0.30		-	-		

重点項目スコアシート
半田市立半田病院新病院

竣工段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいも版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	3.9
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	4.4	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.9	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				4.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.09	外構緑化:20.8%/建物緑化:0.7%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		2.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	1.0	-	市内工場の陶板を内装仕上げに採用している。

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 半田市立半田病院新病院

計画上の配慮事項	
総合	・半田市の街並みに配慮した外観計画。 ・敷地周辺環境に配慮した設備計画。
Q1 室内環境	・光庭を計画。 ・病棟階に日射抑制を兼ねた点検バルコニーを計画。
Q2 サービス性能	・免震構造を採用。 ・配管の耐震措置、空調設備の系統分けを計画。 ・重要設備系の受変電設備の二重化、発電機-UPSの設置。 ・通信手段の多様化、浸水回避、防災無線・サーバー用UPSの設置。
Q3 室外環境(敷地内)	・敷地内に可能な限りの緑化を計画。 ・段差を解消し利用者の安全に配慮。
LR1 エネルギー	・LCEMツールを活用し、設備システムの効率を検討。 ・太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの活用。
LR2 資源・マテリアル	・雨水を雑排水に利用。
LR3 敷地外環境	・雨水貯留槽を設け、雨水流出抑制による周辺への負担を軽減。
その他	